

プレスリリース／イベントレポート

「ロベコ SI フォーラム／SAM サステナビリティアワード 2019 in Tokyo」開催

日本企業 20 社が受賞

日本企業は気候変動戦略の分野で世界に先行



ミヒール・ファン・エッシュによる講演



受賞企業 20 社とロベコ、ロベコ SAM 代表者の記念撮影

2019 年 7 月 5 日 東京：ロベコおよびロベコ SAM は、「ロベコ SI フォーラム／SAM サステナビリティアワード 2019 in Tokyo」を東京都千代田区のザ・キャピトルホテル東急において開催いたしました。

日本において ESG 投資とコーポレート・サステナビリティに高い見識を持つ企業や機関投資家等の参加者と、ロベコおよびロベコ SAM が誇るサステナビリティ投資の専門家が一堂に会して、ケーススタディやノウハウを共有し、今後の課題について活発に議論が行われました。

■ イベント概要

日時： 2019 年 7 月 4 日(木) 17:00～20:50

会場： ザ・キャピトルホテル東急

登壇者： ロベコ シニア・エンゲージメント・スペシャリスト ミヒール・ファン・エッシュ
伊藤忠商事株式会社 代表取締役専務執行役員 CAO 小林 文彦 氏
ロベコ SAM ESG レーティング責任者 マンジット・ジャス

参加者： 機関投資家、SAM サステナビリティアワード 2019 に選定された日本企業、
SAM サステナビリティ・イヤーズブック 2019 掲載企業

前半は、ロベコでシニア・エンゲージメント・スペシャリストを務めるミヒール・ファン・エッシュが「スチュワードシップの実践」についてプレゼンテーションを行いました。企業に対するエンゲージメント活動の独自ノウハウについて、エネルギー企業の具体例を用いた説明を展開し、「エンゲージメント成功のために、投資家は、組織内の各チーム同士が連携し、企業に対して終始一貫した姿勢で臨み、企業に対する深い理解を軸にした信頼できる対話相手となることが重要」と強調しました。

また、ロベコ SAM の ESG レーティング責任者マンジット・ジャスによる「コーポレート・サステナビリティの最新動向」と題するプレゼンテーションでは、年間 4,600 社以上の企業評価から見える、日本におけるコーポレート・サステナビリティの潮流について、気候戦略の現状を中心に考察しました。「評価結果によると、日本企業は、温室効果ガス排出量スコップ 3 の計測や気候変動関連目標の設定において、世界の他の国に比べ取り組みが大きく進んでいることが分かりました。一方で、気候変動への CEO の報酬連動という施策においては、グローバル平均に後れをとっていました」と語りました。

記念講演では、コーポレート・サステナビリティのベスト・プラクティスの事例として、伊藤忠商事株式

会社 代表取締役専務執行役員 CAO 小林文彦氏を招聘しました。小林氏は、同社創業の精神である「三方よし」を基盤とする経営理念やサステナビリティの基本方針、それを具現化する具体的な施策等について説明しました。

最後に、ロベコ SAM によるコーポレート・サステナビリティ評価 (CSA) において高評価となった日本企業 53 社のうち、特に優れた実績を示した 20 社にゴールド、シルバー、ブロンズ・クラスのトロフィーを授与する表彰式が催されました。下記が受賞した企業です。

計約 140 名が来場し、サステナビリティ投資で先行する欧州の最新動向や、日本における進展や課題等について、実践的なやり取りが実現しました。

2019 年の受賞企業 (日本)

クラス	受賞企業
	伊藤忠商事株式会社
	ANAホールディングス株式会社
	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
	コニカミノルタ株式会社
	住友林業株式会社
	株式会社NTTドコモ
	積水ハウス株式会社
	双日株式会社
	味の素株式会社
	積水化学工業株式会社
	東京海上ホールディングス株式会社
	TOTO株式会社
	凸版印刷株式会社
	日本電信電話株式会社
	富士通株式会社
	本田技研工業株式会社
	マツダ株式会社
	株式会社丸井グループ
	三井物産株式会社
	株式会社リコー

※クラス毎に五十音順

■SAM コーポレートサステナビリティ評価 (CSA) について

ロベコ SAM は、1995 年の設立以来、長年にわたりサステナビリティ調査・投資の分野をリードしてまいりました。1999 年より毎年、各業界のグローバル企業をサステナビリティの観点から評価・分析し、高評価となった企業を表彰しており、今年で 20 年目を迎えます。サステナビリティへの取り組みの評価結果はサステナビリティ・イヤーブックで発表されます。評価対象企業は、現在では年間 4,600 社にもものぼります。2018 年の SAM コーポレート・サステナビリティ評価 (CSA) では、60 業種を対象に評価を行い、その結果、36 カ国の 458 社が上位 15% 以内の企業としてサステナビリティ・イヤーブック 2019 年版に掲載されました。

CSA の評価結果は、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) をはじめとする S&P の ESG 指数の構成銘柄選定に活用されています。

ロベコについて

ロベコは、1929年に設立された専門のグローバルな資産運用会社です。世界に15拠点を構え、オランダのロッテルダムに本社を置いています。ファンダメンタル、サステナビリティ、およびクオンツ分野のリサーチを独自の方法で融合させることにより、機関投資家、個人投資家双方に対し、広範にわたる資産クラスを網羅した、幅広いアクティブ運用戦略を提供しています。2018年12月31日現在、ロベコ単体の運用資産総額は1,619億ユーロ(約20.3兆円*)であり、そのうち71%は機関投資家の資産を運用しています。ロベコは、オリックス・コーポレーション・ヨーロッパN.V.(オリックス・ヨーロッパ)の子会社です。オリックス・ヨーロッパの運用資産総額は、2018年12月31日現在、2,650億ユーロ(約33.24兆円*)にのびります。ロベコの詳細は、こちらをご覧ください: www.robeco.com

ロベコ・ジャパン株式会社はロベコの日本法人で、2013年9月に設立。

* 1ユーロ=125.42 円で換算

重要事項

当資料は情報提供を目的として、ロベコ・ジャパン株式会社が作成したものです。資料中の個別の金融商品の売買の勧誘や推奨等を目的とするものではありません。記載された情報は十分信頼できるものであると考えておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。意見や見通しはあくまで作成日における弊社の判断に基づくものであり、今後予告なしに変更されることがあります。運用状況、市場動向、意見等は、過去の一時点あるいは過去の一定期間についてのものであり、過去の実績は将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。また、記載された投資方針・戦略等は全ての投資家の皆様に適合するとは限りません。当資料は法律、税務、会計面での助言の提供を意図するものではありません。

ご契約に際しては、必要に応じ専門家にご相談の上、最終的なご判断はお客様ご自身でなさるようお願い致します。

運用を行う資産の評価額は、組入価値証券等の価格、金融市場の相場や金利等の変動、及び組入価値証券の発行体の財務状況による信用力等の影響を受けて変動します。また、外貨建資産に投資する場合は為替変動の影響も受けます。運用によって生じた損益は、全て投資家の皆様に帰属します。したがって投資元本や一定の運用成果が保証されているものではなく、投資元本を上回る損失を被ることがあります。弊社が行う金融商品取引業に係る手数料または報酬は、締結される契約の種類や契約資産額により異なるため、当資料において記載せず別途ご提示させて頂く場合があります。具体的な手数料または報酬の金額・計算方法につきましては弊社担当者へお問合せください。

当資料及び記載されている情報、商品に関する権利は弊社に帰属します。したがって、弊社の書面による同意なくしてその全部もしくは一部を複製またはその他の方法で配布することはご遠慮ください。

商号等: ロベコ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2780号
加入協会: 一般社団法人 日本投資顧問業協会